

利根川水源県ぐんまからの発信

～歴史、文化、自然の恵みを未来へつなぐために～

第25回

水

8/26 木 シンポジウム

10:00～17:15 (9:15開場)

会場: Gメッセ群馬 (2Fメインホール)

入場無料

来場定員210人 要申込 先着順

Web同時配信 要申込

特別講演 / 基調講演 / テーマ別分科会 / 市民団体発表 / パネル展示

8/27 金 現地見学会

8:30 (出発)～17:00 (解散)

見学先: ハツ場ダム周辺 (群馬県吾妻郡長野原町)

参加定員25人 要申込 先着順

※小学生以上を対象

なるほど! やんば資料館 / ハツ場ダム堤体視察 / やんば天明泥流ミュージアム など

【集合】 8:15 JR高崎駅 (東口)

【参加費】 高校生以上2,000円、小・中学生1,800円 (昼食代、保険代、施設入場料込み)

先着順

会場までのアクセス



JR 高崎駅から徒歩約15分 (約1.1km)
関越自動車道高崎玉村スマートICから車15分
駐車場1918台 (有料) メインホールへの
アクセスは駐車場3階からが便利です。

⚠ お車でお越しの方は、施設の北側からのご入場をお願いします。

新型コロナウイルス感染状況等により開催形態が変更になる場合があります。詳しくは下記ホームページまたは、裏面実行委員会事務局へお問合せください。

http://www.pref.gunma.jp/06/h40g_00129.html



群馬の山々から流れ出た水は、やがて大河利根川となり人々の暮らしを支えます。
写真は日本三大岩場の一つとされる谷川岳への倉沢。



参加申込方法

※ ①シンポジウム (来場) や現地見学会に参加の方、②シンポジウム (Web配信) に参加の方で申込方法が異なります。

① シンポジウム (来場) や現地見学会に参加の方は、本チラシ裏面の申込書または、実行委員会事務局ホームページから申込書をダウンロードし必要事項をご記入の上、下記のいずれかの方法で申込をお願いします。

FAX 027-253-1339

メール mizushinpo2021@gunsokkyo.or.jp

【シンポジウム来場・現地見学会参加申込に関するお問合せ】 水シンポジウム2021inぐんま受付係 (一社) 群馬県測量設計業協会内 TEL: 027-251-0730 (平日 9:00～17:00)

② シンポジウム (Web配信) に参加の方は、下記ホームページから申込をお願いします。

HP <https://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>



主催 第25回水シンポジウム2021inぐんま実行委員会 (構成団体: 公益社団法人 土木学会水工学委員会、国土交通省関東地方整備局、群馬県、高崎市、独立行政法人 水資源機構)

協賛 一般財団法人 経済調査会、一般財団法人 河川情報センター、一般財団法人 水源環境センター、一般財団法人 ダム技術センター、
一般財団法人 国土技術研究センター、一般財団法人 先端建設技術センター、一般財団法人 日本建設情報総合センター、一般社団法人 日本建設業連合会 関東支部、
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 関東支部、一般社団法人 関東地質調査業協会、一般社団法人 群馬県建設業協会、一般社団法人 群馬県測量設計業協会、
公益財団法人 群馬県建設技術センター、群馬県河川協会

このシンポジウムは、土木学会継続教育 (CPD) プログラムの認定を受けています。

このシンポジウムは、公益財団法人河川財団による河川基金の助成および一般財団法人防災研究協会、一般社団法人関東地域づくり協会による助成を受けています。



河川
基金

利根川水源県ぐんまからの発信 ～歴史、文化、自然の恵みを未来へつなぐために～

利根川は、群馬県の北部県境にある大水上山（みなかみ町）を水源とし、さまざまな支川を合わせながら関東平野を東に流れ、千葉県銚子市で太平洋に注ぐ河川であり、古くから「坂東太郎（ばんどうたろう）」と呼ばれ、人々に親しまれてきた。その流域は、群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・東京都の1都5県、流域面積は約16,840 km²と日本一を誇り、利根川の水の恩恵なくして首都圏3,000万人の生活は成り立たない、極めて重要な役割を果たしている。

また江戸時代には、洪水の防止に加え、江戸を中心とした舟運体系の確立等を目的とした工事により、船着場は米などの物資や人々を運ぶ港として栄え、さらに明治時代に入ると、世界遺産である富岡製糸場などで生産された生糸の東京・横浜への輸送路として、利根川は群馬の産業を支えた。

一方で、昭和22年9月に発生したカスリーン台風は、関東1都5県に死者1,100名、家屋倒壊半壊31,381戸という未曾有の被害をもたらした。群馬県においても、特に赤城山周辺をはじめ、前橋市、伊勢崎市、桐生市などで多くの被害が発生した。

その後行われたさまざまな河川改修や利根川上流ダム群の整備により、安全度は格段に向上し、洪水から人々の暮らしを守ってくれているが、平成27年9月関東・東北豪雨や令和元年東日本台風など、猛烈・大型の台風などが相次いで発生していることに鑑みると、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策へのより一層の取組が必要であり、群馬県においても、「河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会」を設立し、国・県・市町村等が連携し、目標を定めて防災・減災対策に全力で取り組んでいるところである。

このような状況の中、群馬県における環境、文化、災害等の経験を踏まえ、「気候変動に備える水源県としての治水・利水機能の役割」や「水辺の自然、親しみと潤いのある空間、人とのつながり」について議論し、水源県の立場から、社会環境、気象環境の変化に応じた治水・利水・人と水との関わりなどの在り方について提言し、全国に発信する。

8/26 木 シンポジウム

入場無料
会場：Gメッセ群馬
(2Fメインホール)

来場定員210人 要申込 先着順

Web同時配信 要申込

10:00 開会 (9:15 開場)

【午前の部】

10:35 特別講演 (30分)

特別講演 「利根川水系の水災害と水源県ぐんまの役割」
講師：群馬大学大学院理工学府環境創生部門 教授 清水義彦氏

11:05 休憩 (10分)

11:15 基調講演 (40分)

基調講演 「水のくに群馬 - 4つの顔 -」
講師：高崎商科大学 特任教授 熊倉浩靖氏



清水義彦氏



熊倉浩靖氏

12:55 第1分科会 (80分)

14:15 休憩 (10分)

14:25 第2分科会 (80分)

【午後の部】

15:45 休憩 (10分)

15:55 市民団体発表 (30分)

16:25 休憩 (10分)

16:35 全体会議 (30分)

17:05 次回開催挨拶 (10分)

17:15 閉会

第1分科会 テーマ 「(気候変動に備える) 水源県としての治水・利水機能の役割」

コーディネーター 鼎信次郎 (東京工業大学 教授)

パネリスト 高畑英治 (関東地方整備局河川調査官) 石橋一恭 (水資源機構下久保ダム管理所長)
川瀬宏明 (気象庁気象研究所主任研究官) 芳村圭 (東京大学教授)
吉田武郎 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構上級研究員)

第2分科会 テーマ 「水辺の自然、親しみと潤いのある空間、人とのつながり」

コーディネーター 平川隆一 (前橋工科大学 准教授)

パネリスト 永野博之 (群馬工業高等専門学校准教授) 掛川優子 (かな川水辺の楽校運営協議会会長)
黒田まり子 (富士山集落活性化協議会事務局長) 小淵紀久男 (上毛新聞社編集局長)

市民団体発表

「長野原町の魅力 'Ko・So・A・Do」 一般社団法人つなぐカンパニーながのはら

【パネル展示】 09:30～17:15 会場：2F メインホール横ホワイエ

8/27 金 現地見学会

<見学先>
ハッ場ダム周辺

参加定員25人 要申込 先着順
※小学生以上を対象

先着順

8:15 集合 (JR高崎駅 東口)

8:30 出発 見学① なるほど! やんば資料館
見学② ハッ場ダム堤体視察
見学③ やんば天明泥流ミュージアム
見学④ 道の駅 ハッ場ふるさと館

15:00 解散① (JR長野原草津口駅)

17:00 解散② (JR高崎駅 東口)

【参加費】 高校生以上 2,000 円、小・中学生 1,800 円
(昼食代、保険代、施設入場料込み)

先着順のため、ご希望に添えない場合がございます。
万が一に備え「レクリエーション保険」に加入していただきます。
参加費は当日徴収します。

【シンポジウム (来場) や現地見学会に参加の方】 FAX専用申込書

締切：8月2日 (月) 必着

FAX 027-253-1339 水シンポジウム2021 in ぐんま受付係 参加する方が複数の場合は、本チラシをコピーしご使用ください。

フリガナ	年齢	歳	参加希望企画	☐ シンポジウム (来場) ☐ 車で来場 ☐ 車以外で来場	☐ 現地見学会 ☐ JR 長野原草津口駅で解散 ☐ JR 高崎駅で解散
参加者氏名					
住 所					
所属団体					
電話番号			FAX番号		
弁当申込み	☐ 申込む 8/26 シンポジウム用・お茶付き1,000円		メールアドレス		

※ 本イベントに関する新型コロナウイルス感染症対策については、実行委員会事務局ホームページをご確認ください。
※ ご記入いただいた個人情報は、本イベントに関係した連絡のみ使用します。なお、本イベントにて新型コロナウイルス感染の疑いのある方が発生した場合など、保健所等公的機関の要請により、情報提供させていただく場合があります。
※ シンポジウム (来場) や現地見学会に参加の方は、「健康状態申告書」を実行委員会事務局ホームページからダウンロードしご記入の上、当日各一部ご持参ください。

開催内容
お問合せ



「第25回水シンポジウム2021 in ぐんま」実行委員会事務局 (群馬県県土整備部河川課)

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 TEL:027-226-3617 HP http://www.pref.gunma.jp/06/h40g_00129.html

【シンポジウム (Web 配信) に参加の方】 下記ホームページから申込をお願いします。 締切：8月18日 (水)

HP <https://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

